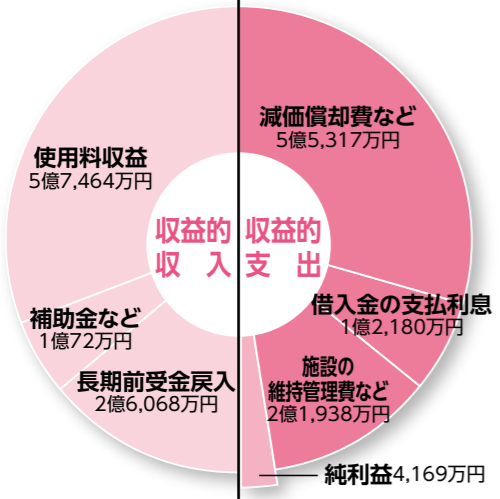


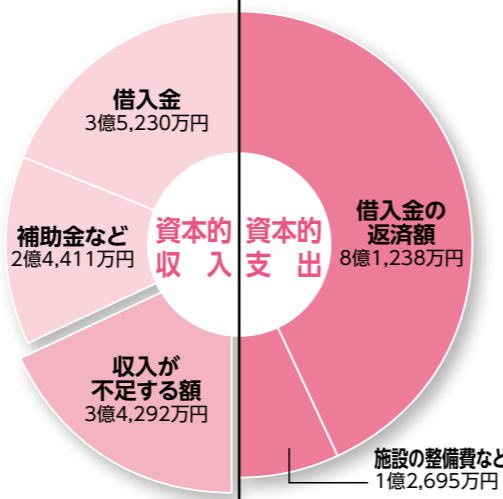
【収益的収支（消費税抜き）】  
下水を処理するための収支

総収入 9億3,604万円 | 総支出 8億9,435万円



【資本的収支（消費税込み）】  
下水道施設を整備するための収支

総収入 5億9,641万円 | 総支出 9億3,933万円



下水道事業

下水道事業は、公共下水道事業と農業集落排水事業の二つの事業を実施しています。その二つの事業を合わせて下水道事業会計として経理をしています。また、下水道事業は、水道事業と同様に公営企業として、「地方公営企業法」に基づき、下水道使用料や補助金などを主な財源とする「独立採算制」を基本に事業運営をしています。

下水道事業会計決算の概要

令和元年度の下水道事業会計の決算は、収益的収支で4,169万円の純利益を計上しました。この利益は、累積していた欠損金の解消に充てられています。また、資本的収支においては、支出に対し収入が少なく3億4,292万円の不足が生じましたが、収益的収支の減価償却費などの内部に蓄えられた資金により補っています。

下水道事業の経営状況

下水道事業は、企業債（借入金）の返済額が年間8億円を超え、使用料収益だけでは支出の全部を賄うことができません。そのため、一般会計から補助金を受け入れているほか、補助事業を積極的に活用し事業を運営しています。下水道使用料は、今後人口減少などにより徐々に減少していくことが予測されます。そのため、下水施設の更新計画や中長期的な財政計画の策定を進め、引き続き効率的な事業運営に努めます。

【下水道事業の業務量】

項目	説明	令和元年度	平成30年度	前年比
処理区域内人口	下水道が整備されている区域内の人口	24,296人	24,402人	△ 106人
水洗化人口	下水道管に接続している人口	21,789人	22,994人	△ 1,205人
年間総処理水量	家庭などから流された年間汚水量	2,834,365m <sup>3</sup>	2,858,769m <sup>3</sup>	△ 24,404m <sup>3</sup>
年間有収水量	総処理水量のうち使用料の対象となった汚水量	2,624,743m <sup>3</sup>	2,646,740m <sup>3</sup>	△ 21,997m <sup>3</sup>



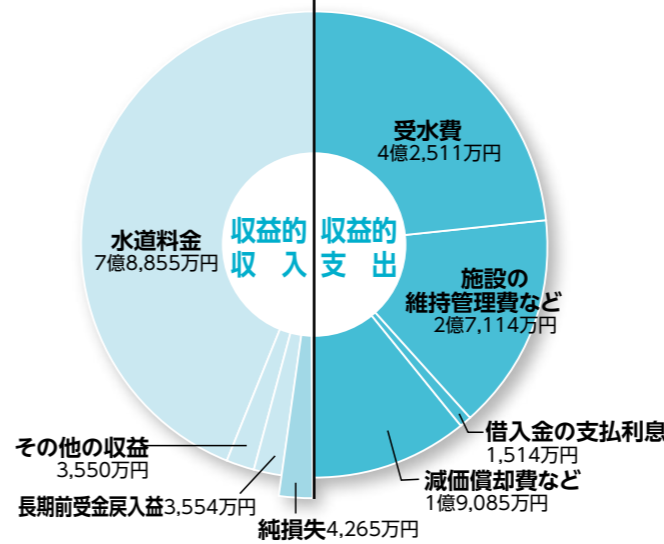
▶白石城や白石駅前設置しているカラーマンホール蓋

令和元年度に実施した主な事業

令和元年度は、浸水対策事業として八幡町の雨水幹線工事、長寿命化事業として市内26カ所のマンホール蓋の更新工事を行いました。また、葉師堂地区の農業集落排水施設を公共下水道へ接続する工事に着手し、令和2年度の完成を予定しています。

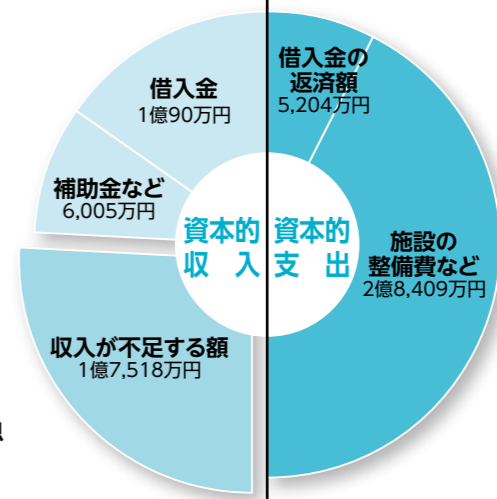
【収益的収支（消費税抜き）】  
水道水を作り、届けるための収支

総収入 8億5,959万円 | 総支出 9億224万円



【資本的収支（消費税込み）】  
水道施設を整備するための収支

総収入 1億6,095万円 | 総支出 3億3,613万円



水道事業

水道事業は、公営企業として「地方公営企業法」に基づき、水道料金を主な財源とする「独立採算制」を基本に事業運営をしています。水道事業の会計は、企業会計方式により、水道水を作り届けるための「収益的収支」と水道施設を整備するための「資本的収支」に分けて経理をすることになっています。

水道事業会計決算の概要

水道料金収益は7億8,855万円で、前年度と比較すると1,521万円の減少となり、収益的収支で4,265万円の純損失となりました。また、資本的収支においては、支出に対し収入が少なく、1億7,518万円の不足が生じましたが、収益的収支の減価償却費などの内部に蓄えられた資金により補っています。

水道事業の経営状況

人口減少などによる水道料金収益の減少が続く中で、宮城県（七ヶ宿ダム）からの水の購入費用である受水費が収益的支出の約47%をしめており、また、老朽化した水道施設の更新が必要となるため、費用の増加も予測されます。このような厳しい経営状況が続きますが、将来にわたり安心安全な水道水を届けるため、水道施設の更新計画や中長期的な財政計画の策定を進め、効率的な事業運営に努めます。

【水道事業の業務量】

項目	説明	令和元年度	平成30年度	前年比
給水人口	水道により給水を受けている人口	32,146人	32,654人	△ 508人
給水戸数	水道により給水を受けている戸数	13,651戸	13,663戸	△ 12戸
年間総配水量	配水池などから配水された年間水量	4,068,137m <sup>3</sup>	4,187,178m <sup>3</sup>	△ 119,041m <sup>3</sup>
年間有収水量	総配水量のうち料金の対象となった水量	2,991,258m <sup>3</sup>	3,061,948m <sup>3</sup>	△ 70,690m <sup>3</sup>



▶耐震性の高い水道管に更新